

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

し てい ぶん か ざい し せき

指定文化財(史跡)



ぼ しょ

場所

あさくち し かもがたちょうろくじょういんひがし

- ・浅口市鴨方町六条院東



じ だい

時代

えど じ だい めい じ だい

- ・江戸時代～明治時代



し てい ねん が つ び

指定年月日

へい せい

- ・平成23(2011)年

10月25日



し ょ ゆう

所有

あさくち し

- ・浅口市

あとうはくみきゅうきよ

阿藤伯海旧居

新高総早倉矢井

見梁社島敷掛原

市市市町市町市

浅口市

里笠
庄岡
町市



し せき

この史跡について

この旧居は、昭和の偉大な漢詩人阿藤伯海(1894～1965年)の生家です。阿藤伯海が生涯を過ごした家であり、数々の漢詩を創作しました。第一高等学校教諭時代の生徒には、後に大学総長、芥川賞作家や日銀総裁等があり、若い頃に旧居に宿泊していました。旧居には、幕末から明治時代に建築された母屋を中心に、離れ、蔵や長屋門などがあり、周辺には伯海が愛した野山等の自然が残っています。母屋には、書・手紙・写真などの伯海に関する数多くの遺品が展示されています。伯海の生涯やその精神、庄屋造の建物を知ることができることができます。